

全国のみなさん
ぜひ静岡へ!



太田原 剛さん
(静岡自治労連 島田市労連)

全国の青年のみなさん、「ビキニデー」を知っていますか?3月1日は、「ビキニデー」と呼ばれ、原爆が投下された8月6、9日とともに、核兵器廃絶への決意を新たにする日です。

静岡県に住む私は、3年前まで「ビキニデー」を知りませんでした。東電福島第一原発事故を機に、日本の被ばくの歴史や核兵器反対の運動を知ることが大事です。ぜひ、静岡にお越しください。

「いのち」がないがしろに
されない未来へ



川口 幸江さん
(長崎民医連・健友会本部)

今年はビキニ事件から60年という節目の年です。国際的にも「核兵器廃絶」の大きな流れがきている中、日本政府は改憲で「戦争ができる国」へ変えようとしています。人の「いのち」がないがしろにされる未来には絶対したくありません。これからを担う若い人たちと、原水爆禁止運動の原点である3・1ビキニデーに参加し、多くのことを感じたいです。

海外代表



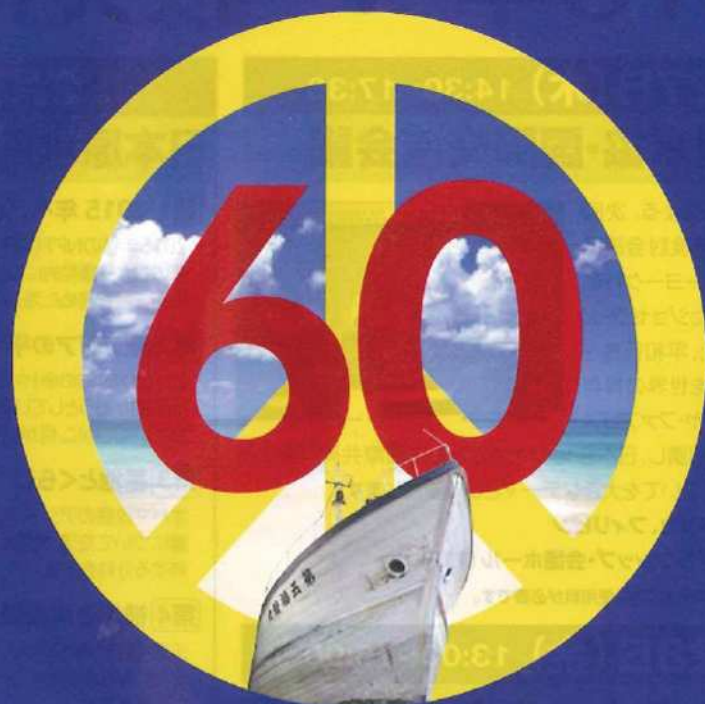
ジョゼフ・ガーンソンさん
(アメリカフレンズ奉仕委員会
ニューイングランド事務所責任者)

この他、被災60年を迎えるビキニ水爆実験はじめ、度重なる米国の核実験による放射能被害とたたかうマーシャル諸島共和国の代表が参加します。



マラヤ・ファブロスさん
(非核フィリピン連合)

2014年 3・1ビキニデー



1954-2014 ビキニ被災から60年

2015年 NPT
核兵器全面禁止へ



2014年3・1ビキニデーパンフレット

頒価200円、B5版、16ページ

60年前にアメリカの水爆実験に抗議して広がった原水爆禁止の署名運動を振り返るとともに、その運動が核兵器全面禁止の声を世論の大勢とし、平和と民主主義への逆行、憲法改悪の手を抑え、国際的にも核兵器の使用を断念させた壮大なたたかいであったことが体系的につかめます。

同時に、核兵器全面禁止へ向けて広がる国内外の情勢を学ぶことができます。3・1ビキニデーに向けた学習会などで、ぜひご活用ください。

- ①ビキニ被災60年—教訓をいまに活かす 核兵器のない世界へ
- ②世界の動き 核兵器のない平和な世界へ 力強い流れ
- ③日本の動き 核兵器禁止・廃絶の先頭に立つ日本を
- ④核兵器と原爆 放射線被害を根絶するために
- ⑤ヒパクシャ 被爆者とともに核兵器のない世界の実現を
- ⑥参加しよう! あなたも3・1ビキニデーへ
- ⑦2015年に向けて行動を

も
く
じ

原水爆禁止日本協議会 〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター6階
TEL 03-5842-6031 FAX 03-5842-6033
http://www.antiatom.org/ e-mail antiatom55@hotmail.com

2月27日から3月1日まで、静岡県焼津市を中心に「2014年3・1ビキニデー」の集會が開かれます。

60年前の1954年3月1日、アメリカがマーシャル諸島ビキニ環礁でおこなった水爆実験は、広島に落とされた原爆の1000倍の威力がありました。焼津港を母港とするマグロ漁船「第五福丸丸」をはじめ多数の船が被災。広島、長崎に続く三度の核兵器の被害に、原水爆禁止を求める世論と運動が日本全国から世界に広がりました。

いま世界は核兵器廃絶へ向けゆるぎなく動いています。被災70年、NPT(核不拡散条約)再検討會議が開かれる2015年を目前にして、ビキニ被災から60年の節目に開催する2014年ビキニデーは、核兵器の廃絶をめざす日本と世界の世論を大きく盛り上げ、国際政治を核兵器廃絶へと動かしていくための一大決起の場です。

核兵器全面禁止の国際共同行動の提唱、新たなラウンドの原爆展と「核兵器全面禁止のアピール」署名、多彩で創意にあふれた2014年原水爆禁止国民平和大行進—すべての運動がここから始まります。全国の運動を持ち寄りましょう。あなたもぜひ参加してください。

原水爆禁止日本協議会

被災60年、2014年3・1ビキニデー 2015年へ 核兵器全面禁止の巨大なうねりを

2月27日(木) 14:30~17:30

日本原水協・国際交流会議

大きな期待が高まる、次回(2015年)NPT再検討会議にむけ、2010年ニューヨーク行動の責任者を務めたジョセフ・ガーンソン氏(米国)と、平和行進をはじめとした行動を世界の青年に呼びかけるマラヤ・ファブロス氏(フィリピン)を招請し、日本各地の代表とともに国際共同行動とそれにむけた運動についてを大きなテーマとして議論します。



■海外代表 アメリカ、フィリピン

●会場 静岡グランシップ・会議ホール(11F)

※全体参加費の他に同時通訳機材使用料が必要です。

2月28日(金) 13:00~15:00

日本原水協全国集会・全体集会

全国からの参加者と海外代表が一堂に会する全体集会。今年のテーマは、「被災60年、2014年3・1ビキニデー 2015年へ 核兵器全面禁止の巨大なうねりを」です。基調報告では、2015年NPTへ、春にニューヨークで開かれる第3回NPT準備委員会から夏の広島・長崎、秋の国連総会にむけた運動方向や、非核平和の日本を実現する運動が提起されます。「核兵器全面禁止のアピール」署名や、原爆展をはじめ全国的に展開されている反核平和運動の交流が大きな目玉です。現在、インドネシア国連軍縮大使(ジュネーブ)を招請中。

●会場 静岡グランシップ・中ホール

関連行事

青年企画 Ring! Link! Zero in 静岡

●日時 2月28日(金) 19:00~21:00(終了予定)

●会場 静岡グランシップ内

●主催 Ring! Link! Zero実行委員会

2月28日(金) 15:30~18:30

日本原水協全国集会・分科会 会場:グランシップ内

第1) 2015年へ、「核兵器全面禁止」を圧倒的な草の根の力で

2015年春のNPT(核不拡散条約)再検討会議にむけて「核兵器全面禁止のアピール」署名を草の根から爆発的に広げるためにどうすればいいかについて、2010年NPTニューヨーク行動の責任者を務めた海外代表も交え、「自分にできること」を考えます。

第2) 東アジアの平和・憲法・日本の役割

アメリカの「核の傘」やそのアジア基軸戦略の下、集団的自衛権行使容認など「戦争する国づくり」に向かおうとしている日本を、憲法9条が活きる非核平和のアジアに貢献する方向へ転換させていくために、何が必要か議論します。

第3) 基地とくらし

オバマ政権のアジア・太平洋「基軸」政策のもとで、日米軍事同盟が私たちのくらしに与える影響について交流・議論します。全国の在日米軍基地が置かれている県、とりわけ沖縄と熱く連帯する分科会です。

第4) 被爆の実相普及、被爆者援護・連帯、運動の継承

広島・長崎の被爆の実相に学び、どのように語り継承していくのかを交流します。被爆者支援のための草の根行動とネットワークづくり、被爆2世・3世との交流を強めることなど、参加者とともに考えます。

第5) 原発ゼロ、被害地支援、自然エネルギーへの転換めざして

放射線被害の根絶、原発被災地への支援を行いながら、再稼働を許さず、原発をなくし、自然エネルギーへの転換をめざす運動を自治体との共同をどう強めるのか、各地のとりくみを交流しながら話し合います。

第6) 国民的共同の前進へ、国民平和大行進の新たな発展を

被爆70年(2015年)にむけて、これまでになく最も広範な国民と全国の草の根で結びつき、新たな国民的連帯と共同の行進をめざします。あなたの一歩が、日本と世界を変えられると実感できる行進について議論します。

第7) 草の根運動を強めよう—地域原水協の役割と活動

「核兵器全面禁止」の世論を、地域・草の根から作り出す大きな役割をもつ地域原水協をどう強めていくのかを交流します。広がる自治体との共同をすすめて、市区町村から非核平和の日本づくりを考えます。

第8) 被災60年・ビキニ事件の全容解明と原水爆禁止のたたかい

60年前のビキニ事件とその後起こった原水爆禁止の署名運動や、その現代的意義について学ぶ分科会です。被災船に乗っていた関係者の証言を聞くなど、ビキニ事件を全容解明する一助の場とします。

3月1日(土) 9:30~11:30

献花墓参行進

●時間 9:15JR焼津駅南口集合・9:30弘徳院にむけて行進出発

●主催 被災60年2014年3・1ビキニデー静岡県実行委員会
日本宗教者平和協議会

久保山愛吉氏墓前祭

●ところ 弘徳院

●時間 10:30~11:30

●主催 日本宗教者平和協議会



被災60年2014年3・1ビキニデー集会

●時間 13:00~15:30(開場12:00)

●会場 焼津市文化センター大ホール(焼津市三ヶ名1550)

●主な内容 記念講演「ビキニ被災60年の検証とこれからの原水爆禁止運動」(仮称)講演者:安斎育郎氏(原水爆禁止世界大会実行委員会 議長団)、来賓あいさつ、ビキニ水爆実験被害者の証言(現地マーシャルの映像上映)、海外代表の発言、全国の運動交流、文化企画、集会アピールの採択

●主催 原水爆禁止世界大会実行委員会
被災60年2014年3・1ビキニデー静岡県実行委員会

日本原水協全国集会・分科会会場案内



日本原水協全国集会、国際交流会議(同時通訳機材使用料)、3・1ビキニデー集会是各々参加費が必要です。詳しくは日本原水協か都道府県原水協までお問い合わせください。